

文化・芸術の振興策について

質問

文化・芸術は、人々の心を潤し、人々に共感・共鳴を与える力がある。わが国においても、文化芸術振興基本法が成立して以来、さまざまな文化予算が大幅に増額されるようになった。

市長は、文化・芸術に対してどのような考えを持っていらっしゃるのか。

また、本市の文化・芸術の振興にどう取り組んでいくのか。

答弁…市長

地方公共団体が、文化・芸術活動に取り組むときには、使うお金を市民の皆様から頂いている税に頼りますので、どうしても基礎的な、普遍性のあるものに使っていかねればなりません。

芸術・文化、それからスポーツにしても、一定のレベル以上になると、極めて専門性が高くなりますので、そういう部分にお金を使うことは、

本市の規模では、なかなか難しいと思います。

したがって、行政として取り組む文化・芸術活動の振興策というものは、基礎的な部分、例えば、幼稚園や小・中学校を通じての活動とか公民館活動、それから勤労福祉センターを利用しての活動等につきまして、その活動を奨励、刺激していくものになるだろうと考えています。

定額給付金・子育て応援特別手当について

質問

定額給付金等については、全国的には、4月上旬から申請受付、4月中旬以降に支給を開始するというのが平均的なスケジュールだが、本市の場合はどうか。

また、実施本部・相談窓口の設置状況はどうなっているのか。

答弁…総務部長

定額給付金と子育て応援特別手当の給付作業に備えるため、関係部課による打ち合わせ会を実施し、その後2月13日付で、副市長を本部長とし、関係部課長等18名で構成される坂出市定額給付金等事

業実施本部を設置しました。今後、国から示された事務等についての具体的な取り扱い等を踏まえ、本部で協議し、対象者の抽出、市民への周知・発送・給付等の具体的な作業を進めていきます。

現時点の状況としては、4月上旬頃までに申請書等を郵送し、4月下旬頃には給付を開始したいと考えています。金融機関における混乱を避けるために、繁忙期である月末等の振り込みは避けるべきとの国の指導もあり、さらに通常は振込予定日の4、5日前までに振込データの提出を要求されており、特に、ゆ

うちよ銀行については、10日前までに振込データの提出を要求されていますので、5月上旬に支給がずれ込むことも想定されます。

現在は、企画課で市民からの電話相談等に対応していますが、近日中に、合同庁舎2階の旧法務局跡地に総合窓口を確保し、専従等の職員や、交付事務等のピークに合わせた臨時職員等の雇用を行い、市民からの申請・相談にきめ細やかに対応するとともに、速やかな給付を行うための準備を進めていきます。

実関係が消えるわけではありませぬ。市長には、自分の判断を試される機会が必ずやってきます。今回の場合、これは決して、甘い評価をしたと自分自身では思っています。今までの例に従ってやったわけ

ありまして、それを市民の皆様が、どう判断されるかになります。

これは、なかなか難しい判断で、自分の業績についての評価と同じくらい難しい判断であります。

市長の政治姿勢について (小泉構造改革の今日的評価)

質問

市長は、過去に小泉元首相は歴代首相の中でも稀に見る逸材だと持ち上げたことがあるが、今日の金融危機の中、小泉構造改革の破綻が明らかになってきている。

市長は今日、小泉元首相と小泉構造改革について、どのような見解や評価を持っているのか。

答弁…市長

小泉内閣は、バブル経済が崩壊し、不良債権を抱え、どうにもならなくなった日本経済における、その後の景気回復を公共事業に頼ることなく、いわゆる構造改革というものに主眼を置いてやってきました。

そのことから、私は、小泉元首相と竹中元大臣は、後

世に評価される政治家に必ずなるだろうと思っております。

不況の今、小泉内閣がすべて悪いかのように言われていますが、今でも小泉内閣が続いており、さらに政権を続けていく意欲を持っていら

ら、当然そのままの政策がいつまでも続くわけではありませぬから、自分の考えに修正を加えながら、そして自分の理念というものを根本に置きながら、どういう修正を政策に加えていったか、私は非常に見ものであったという気がしています。

すでに首相をお辞めになつており、残念ながら見ることはできませんが、私は今でも、小泉元首相と竹中元大臣を高く評価しています。